令和元年６月５日発行

益田翔陽高等学校同窓会

会　報

No. 11

発　行
島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局
赤　陵　会　館　内
益田市あけぼの東町13-1
TEL 0856－23－1619
FAX 0856－25－7044
HP http://shoyo.info/

令和元年度　第11回 益田翔陽高同窓会定例総会

「第11回定例総会を迎え　同窓会の新たな一歩を」

会長　三　輪　正　樹

平成から令和へ元号が変わり、これからの時代への夢や希望を膨らませる話題を耳にすることが多い今頃。

母校、益田翔陽高等学校は、「平成三十一年度島根公立高等学校入学者選抜（通称　高校入試）」において、生物環境工学科及び総合学科が、競争倍率１・55倍で県下ＮＯ．１となり、ますますの発展を見ています。

これは、普段の校内での授業はもちろんのこと、ボランティア活動、福祉活動、生産活動等体験活動が授業の中に組み込まれており、授業内容が受検生の進路目標と重なり受け入れられたのだと思います。併せて、高等学校卒業後の進路目標を明確に定めての受検生が多いことも大変喜ばしいことだと思います。

会報の最初にこのような明るいニュースを書けることを大変喜ばしく思います。

後になりましたが、会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。平素より同窓会活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り感謝申しあげます。

昨年のこの会報にも書きましたが、本部役員は「心を一つにして前に進めること」、「心を引き継ぐこと」を大切に頑張っています。

次に同窓会運営に携わることで最近感じていることを少し書かせていただきます。

今の少子高齢化の時代、子ども数が減少し毎年の入学者数は140人前後となっています。卒業時にはその40％が進学、60％が就職、そのうち60％が県外へ、市内への就職者は40％という状況が続いている様です。

同窓会の将来を見ますと、変化に合わせて変えていかなくてはならないことが迫っている様に感じます。

定例総会を一つの例としてみますと、変えてはならない大切なものは「型」【①自主・開放・祭り型　②当番期主催　③開催経費は自己調達】はこれまで通り受け継ぎ、変えていかなければならないものとしては、進む少子化による新入会員の減少に伴う定例総会当日までの取り組み方をどうしていくのか、という課題が見えます。

前述のとおり就職者数の内、市内に残る人が40％、人数にしますと30人前後となり、現在の取り組み方では、定例総会の運営が難しくなる可能性があります。

当番期主体そのままで、次年度当番期になる人に、例えば役員の主要な部門の補佐をしていただき、次年度の当番期になった時、その経験を生かしていくという方法、あるいは広く会員に呼びかけボランティアを募集するという方法も考えられます。

会員の皆様方から良いお考えをお聞かせいただき、会員の皆様がなじみやすい、さらに、進んだ同窓会を作っていきたいと思っています。

どうか、様々な機会で話題にしていただければ甚大です。

終わりに、今年の定例総会は、平成四年卒業生が実行委員を務めます。

「紡」～織りなす想いは時代を超えて～　のスローガンの下、令和元年六月九日（日）に開催いたします。皆様のご支援をいただき、盛大な会を作り上げたいと考えていますので、多くのご参加をお待ちしております。

『紡ぐ　～つむぐ～』
～織り成す 想いは 時代を 超えて～

(1) 転出者・退職者

職名	氏名	転出先
教科		
校長	農業　吉岡　正弘	松江農林
講師	瑞・歴　山田　勇太	益田
教諭	理科　上原　顯治	退職
教諭	電気　岡　晶史	江津工
実教	生物環境工　三島　和也	松江農林
教諭	総合　橋本　景子	益田養護
講師	総合　山田　光夏	島根中央
実講	総合　川上　甲児	山口農業
事務	企画員　石川　郁子	益田保健所

(2) 転入者・新任者

職名	氏名	前任校
教科		
校長	数学　長岡　正和	益田
教諭	瑞・歴　沖野　彪	新規
教諭	理科　坂根　大樹	新規
教諭	電子機械　黒川　将希	新規
教諭	電気　三明　晃信	松江工業
実教	生物環境工　岡島　崇	松江農林
教諭	総合　中島　尚子	邇摩
実教	総合　伊藤　結馬	益田養護
教諭	総合　藤原　法子	邇摩
主事	瀧川友里子	新規
業ア	高橋　由佳	新規

『凡事徹底』『日々改善』

益田翔陽高等学校
校長　長岡正和

校舎正面から遠くに見える万葉公園の丘の頂上間に、赤や青、黒、金などの色とりどりの100匹ものこいのぼりが悠然と泳ぐ五月。平成から令和への歴史的な節目の年度がスタートして早くも一カ月余りが過ぎました。今年度、伝統と輝かしい実績のある本校に赴任してまいりました校長の長岡正和でございます。益田出身ではありますが、専門教科が数学で専門高校は初めての勤務であります。何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、本校及び益田・鹿足郡地域の発展のため、精一杯尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

改めまして、全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の卒業生におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。昨年度も同窓生の皆様から物心両面にわたり、様々なご支援を頂戴いたしましたことを重ねて感謝申し上げます。

さて、学校の様子を述べさせて頂きますと、今春の高校入試では、総合学科と生物環境工学科の志願者倍率がともに1・55倍と県トップの高倍率となり、全県の注目を集めました。最終的にこの二学科はそれぞれ定員一杯の40名、電子機械科、電気科がそれぞれ32名ずつの合計144名の新入生が入学し、二、三年各127名とあわせて総計398名（定員480名）で今年度のスタートとなりました。全県の課題でもありますが、工学への魅力を様々な形で地域や小中学校に発信し、各定員40名が充足されるように今後とも努力してまいります。

まずはこの一カ月、全学年全学科とも落ち着いた順調なスタートがきれたのではないかと思います。年度初めに近隣の関係各所に挨拶回りに伺った際、生徒たちの様々な活動に、地域の方々や小中学校の先生方から、新米校長である私に、「昨年度も大変世話になり感謝しています。今年も続けてよろしく！」というお褒めと感謝の声を沢山かけていただきました。ある中学校教諭からは、「昨年課題研究でやられたドローン関係の発表を今年はうちの中学校でもぜひやってもらえないだろうか。中学校ではできない益田翔陽高校ならではの取り組みだから」と切望されました。今春の入試倍率の高さからもわかるように、前吉岡正弘校長先生のリーダーシップのもと、地域に開かれた学校作りに勤しんできた生徒及び教職員の努力されてきたことが、しっかりと評価いただけていると実感でき、大変うれしく思いました。

また、去る4月27日の『緑の市』におきましては、地域の方々が早朝7時過ぎから多く列をなし、開園の8時30分を待っておられ、各種野菜の苗やイチゴジャム・トマトジュース、草花鉢物、花壇苗を沢山購入して頂きました。昨年までは私も客として、毎年朝早めに並んでジャムや苗を購入してきました。農場での農産物販売を目的として産業高校から継続して27年の歴史のあるこの『緑の市』は、秋の『翔陽祭』と合わせて、本校生徒の活動の様子を、保護者並びに地域の方々に理解して頂くとともに、生徒の教科実習の一環として、生産から販売までの実践的な体験学習を通して、教育活動の効果を高めることを目的としています。直に生徒が販売に携わり、購入して頂く地域の方々の笑顔に触れることで、日頃からの地道な取り組みがここにつながると実感でき、やりがいを感じてくれると確信しております。特にうれしかったのは、生徒たちが大きな声で挨拶をするだけでなく、多くの苗を購入され持ち運びに苦労されている年配の方に、生徒たちが率先して声をかけ、代わりに運んでいく姿が見られたことでした。

この良き伝統を受け継ぎ、目指す学校像は今年度も継続して、安心して学べる環境作りをもとにした安全保障、教員の授業改善を充実させた学びの保障、進路実現に向けた進路保障の三つの保障を柱として、「生徒を鍛え地域に開かれた家庭・地域に信頼される学校」「汗と感動と挑戦にあふれる学校」としました。総合的な人間力を身につけ自立して社会貢献できる人材育成を目指し、自分の可能性に線を引くことなく、挑戦する気持ちとあきらめない強い心をもつことのできるような教育活動を提供していきたいと考えております。そのために、重点目標として『凡事徹底』＝当たり前のことを当たり前に行うだけでなく、当たり前のことを他人の追随を許さないほど極めること、『日々改善』＝良いと思ったことは積極的に試して評価・改善を継続しながら、少し高めの目標を設定し、小さな変化・挑戦に取り組むことを掲げました。そして、各種資格検定試験への挑戦やＮＩＥ等新聞活用による基礎学力養成、整備の整ったＩＣＴ機器の活用による授業改善、進路検討会や生徒・保護者面談時間確保とその内容充実、ホームページや生徒ブログによる本校の魅力の積極的な情報発信等を具体的な目標として、教職員一丸となって取り組んでまいります。常に多くの同窓生の皆様や地域の方々に支えられて本校が成り立っていることを肝に銘じて、日々努力していく所存です。

最後になりましたが、同窓生の皆様方のますますのご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、甚だ簡単でございますが挨拶とさせていただきます。

新たな歴史を

益田翔陽高等学校
教頭　佐々木雅典

若葉の緑が日ごとにすがすがしく感じられるころ、益田翔陽高校同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育活動に対しまして暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度は、新しく長岡正和校長先生が着任され、県唯一の複合型専門高校として、一層専門力を高めるとともに基礎学力の向上を目指していきます。これからの日本を島根をこの地域を支える人材育成を目指し、学校経営に取り組んでいきます。

さて、私事ですが今年度の同窓会定例総会の実行委員の中に、益田工業高校工業化学科平成4年卒業の方々がおられます。その方々のクラスを3年間担任させていただいたのです。私が25年ぶりに昨年度赴任し、勤務している間に、実行委員としてクラスの諸君にお世話になることとなり、大変な縁を感じています。また、その方々の中にはお子さんが益田翔陽高校に入学された方もおられ、ますます時代を超えた深いつながりの大切さを身にしみています。この貴重な機会を大切にし、これからも同窓会の皆さんをはじめとした地域の方々に信頼され期待される学校を目指していきたいと思います。

また、本年度も翔陽高校生は地域・卒業生の方々のお力を借りて、様々な校外活動を積極的に行っていきます。学校生活のみならず校外活動においても凡事徹底「時を守り・場を清め・礼を正す」ことを基本理念に活動し、社会的・職業的に自立した人へと成長できるよう取り組んでいきたいと思います。様々な年代の方との交流、農場に来校していただいての交流（「緑の市」・「夕方ふれあい市」・保育園児との芋苗植えと芋堀り・「翔陽祭」）、生徒が地域に出向いての交流（「趙中学校への出前授業」地元企業へのインターンシップ・電気ボランティア活動など）など地域の方々のお力をお借りして、様々な交流体験学習を通して、生徒たちの「生きる力」の育成へつなげていくことを心がけていきます。

こうした取り組みに加え、学習・部活動等の課外活動など本校の教育実践が、同窓会の皆さんをはじめとした地域の方々に分かりやすくするために、本年度もよりリアルタイムな情報発信に努めてまいります。

益田翔陽高校のさらなる飛躍・発展のためには、同窓会の皆さまのご支援・ご高配は必要不可欠に存じます。重ね重ねよろしくお願いいたします。最後になりましたが、益田翔陽高校同窓会のますますのご発展と、同窓会会員・ご家族の皆様のご健勝をお祈りいたします。

平成30年度　益田翔陽高校同窓会　事業報告

日	時	業務内容	会場	日	時	業務内容	会場
4. 8	15：00～	平成30年度第10回同窓会定例総会実行委員会結成大会	赤陵会館会議室	6.11		同窓会第２回理事会案内送付 7月11日開催	
4.10	9：30～	平成30年度 益田翔陽高校入学式	翔陽高校体育館	7.11	19：00～	同窓会 第２回理事会（総会反省会）	赤陵会館会議室
4.16	18：00～	同窓会　会計監査	赤陵会館会議室	8.22	19：00～	同窓会 臨時役員会（テニスコートの補修について）	赤陵会館会議室
	19：00～	同窓会　役員会（正副会長会）	赤陵会館会議室	12.21		益田翔陽高校　テニスコート照明設備助成	
5. 8	19：00～	同窓会　第１回理事会	赤陵会館会議室	2. 4	19：00～	同窓会　役員会（当番期との顔合わせ）	赤陵会館会議室
5.19	11：00～	同窓会関東支部定例総会	アルカディア市ヶ谷	2.28	11：00～	第10回 同窓会入会式（123名　入会）	翔陽高校体育館
6. 9	8：35～	同窓会 第６回親睦ゴルフ大会	萩・石見ＣＣ	3. 1	9：30～	平成30年度 益田翔陽高校卒業式	翔陽高校体育館
6.10	10：00～	平成30年度 第10回 同窓会定例総会	サンパレス益田	3.24	15：00～	第11回　同窓会定例総会　結成式	赤陵会館会議室

平成30年度　同窓会決算書

（平成30年４月1日～平成31年３月31日まで）

〈収入の部〉

科目	予算額	決算額	増減	備考
1）会費	1,548,000	1,548,000	0	平成29年度卒業生　@12,000×129人
2）特定資産取崩収入	0	0	0	
3）雑収入	836	100,012	△ 99,176	口座００１３７８９より振替
4）寄付金		150,000		旧県工中京支部より
5）繰越金	528,164	528,164	0	
収入合計	2,077,000	2,326,176	△ 249,176	△収入決算増額を示す

〈支出の部〉

科目	予算額	決算額	増減	備考
1　事業費	1,355,000	1,211,822	143,178	
1）組織強化費	550,000	337,832	212,168	支部総会開催支援
2）総会対策費			0	
3）入会記念費	300,000	273,790	26,210	卒業証書ホルダー・同窓会の栞
4）会報印刷費	55,000	54,000	1,000	会報250部
5）母校助成費	400,000	400,000	0	
6）慶弔費	50,000	46,200	3,800	祝儀・香典
7）寄付金	0	100,000	△ 100,000	翔陽高校照明器具一部補助
2　事務（管理）費	515,000	477,927	37,073	
1）会議費	25,000	5,641	19,359	正副会長・理事会
2）役務費	370,000	360,000	10,000	監査・職員手当
3）需要費	100,000	106,822	△ 6,822	事務用品・ＨＰホスティングサービス他
4）雑費	20,000	5,464	14,536	
〔(1＋2)支出計〕	1,870,000	1,689,749	180,251	
『収支差額』	207,000	636,427	△ 429,427	
3　特定資産取得支出	0	0	0	
1）周年事業引当支出	0	0	0	
2）会活動引当支出	0	0	0	
〔特定資産取得支出計〕	0	0	0	
4　予備費支出	82,000	0	82,000	
1）予備費支出	82,000	0	82,000	
支出合計	1,952,000	1,689,749	262,251	△支出決算増額を示す

収支差引額　636,427	収入額　2,326,176　－　支出額　1,689,749

令和元年度　事業計画（案）

	益田翔陽高校同窓会
本　　部	○ 総会の開催（毎年６月） ○ 第７回同窓会親睦ゴルフ大会（総会前日） ○ 総会開催助成（45才期当番実行委員会へ） ○ 理事会 ○ 役員会（正副会長会） ○ 会報の発行 ○ 入会式 ○ 入会記念品 ○ 同窓会の栞 ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ その他
支　　部	○ 支部総会開催支援 ○ 関西支部総会 ○ その他

令和元年度　同窓会予算書（案）

（平成31年４月１日～令和２年３月31日まで）

科　　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
1）会費	1,476,000	1,548,000	72,000	平成30年度卒業生　@12,000×123人
2）特定資産取崩収入	0	0	0	
3）雑収入	15	836	821	貯金利息等
4）繰越金	636,427	528,164	△ 108,263	
収入合計	2,112,442	2,077,000	△ 35,442	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科　　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
1　事業費	1,355,000	1,355,000	0	
1）組織強化費	550,000	550,000	0	支部会開催支援
2）入会記念費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会栞
3）会報印刷費	55,000	55,000	0	会報、資料印刷
4）母校助成費	400,000	400,000	0	
5）慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔
2　事務（管理）費	515,000	515,000	0	
1）会議費	25,000	25,000	0	役員会
2）役務費	370,000	370,000	0	役職員（庶務・監査）手当他
3）需要費	100,000	100,000	0	事務用品他
4）雑費	20,000	20,000	0	
〔(1+2) 支出計〕	1,870,000	1,870,000	0	
「収支差額」	142,442	207,000	64,558	
3　特定資産取得支出	100,000	0	△ 100,000	
1)周年行事引当支出	100,000	0	△ 100,000	周年行事準備のため
2)会活動引当支出	0	0	0	
〔特定資産取得支出計〕	100,000	0	△ 100,000	
4　予備費	142,442	207,000	64,558	
1）予備費	142,442	207,000	64,558	
支出合計	2,112,442	2,077,000	△ 35,442	△は支出予算増額を示す

【特別会計】　令和元年度同窓会定例総会対策費予算書（案）

〈収入の部〉

科　　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
総会対策費	350,000	350,000	0	前年度定例総会実行委員会より
収入合計	350,000	350,000	0	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科　　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　　考
事業費	350,000	350,000	0	令和元年度　定例総会実行委員会へ
支出合計	350,000	350,000	0	△は支出予算増額を示す

特定資産	3,512,671 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金	No. 063177
	1,501,555 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金	No. 020869

令和元年度（第11回）益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月九日（日）に開催する。

二、この定例総会は、平成三年度（平成四年三月卒業）の当番期生を主軸に構成する「令和元年度定例総会実行委員会」が主催する。

三、総会は、これまでの同窓会で開催されていた「自主・開放・祭り型」形式を継承する。

四、総会開催資金は、総会参加会費収入より調達する。

五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に関する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場

午前の部	日程	会場
	九時三〇～一〇時三〇分	サンパレス益田
	総会受付	
	一〇時三〇～一一時三〇分	
	定例総会	

午後の部	日程	会場
	一一時〇〇～	サンパレス益田
	祝賀懇親会受付	
	一二時〇〇～一五時〇〇分	
	祝賀懇親会	
	一五時〇〇～一五時三〇分	
	引継ぎ式	

二、総会スローガン

（メイン）『紡　～つむぐ～』

（サブ）「～織り成す　想いは　時代を　超えて～」

三、定例総会の参加動員計画

(1)会員の参加が幅広く多数得られるよう、ポスター宣伝と会員券の販売に努める。

①会員券の計画的割り当て販売。

（職域は各科個人の勤務先に依頼する。本会の協力も得る。）

②会員券は、各科に割り当てとする。

(2)総会の招待者

同窓会役員、来賓、歴代の総会実行委員長、同窓会関係者、当番期各科の恩師

(3)喜寿（77歳）を迎えられた総会出席者の先輩に「表敬記念品」を贈呈する。

令和元年度　益田翔陽高等学校同窓会
定例総会　プログラム

と　き：令和元年6月9日
ところ：サンパレス益田

◎　受　　付　　9：00 ～ 10：30　　1F ロビー
◎　定例総会　　10：30 ～ 11：30　　2F 総会会場

1. 開会宣言
2. 総会実行委員長挨拶
3. 同窓会長挨拶
4. 学校長挨拶
5. 祝辞・招待者紹介、祝電披露
6. 議長団選出・議事手続
7. 議　　事
   - 第１号議案　会務報告
   - 第２号議案　令和元年度事業計画・収支予算（案）
   - 第３号議案　役員改選
   - 第４号議案　その他
8. 閉会宣言

---------- 会場移動・休憩 ----------

受付：11：00～

◎　祝賀懇親会　　12：00 ～ 15：00　　2F 懇親会会場

1. 開宴のことば
2. 実行委員長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 鏡開き・乾杯
5. 喜寿表敬者記念品贈呈式
6. アトラクション
7. 閉宴のことば

◎　引継ぎ式　　15：00～ 15：30　　2F 懇親会会場

1. 開式のことば
2. 校歌斉唱
3. 同窓会旗・ハッピ引継ぎ
4. 次期当番期生（平成５年度卒）代表挨拶
5. 万歳三唱
6. 閉式のことば

実行委員長

（平成四年農業科卒業）
岩本武臣

本年の実行委員を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

今年度益田翔陽高等学校同窓会定例総会の開催にあたりまして、三輪正樹同窓会長をはじめ本会役員の皆様方、そしてお世話下さった関係者の方々には、御指導ご鞭撻賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は改元が行われ、「令和」の時代最初の定例総会になります。

スローガン並びにサブスローガンに『紡ぐ－つむぐ－』『～織り成す想いは時代を超えて～』を掲げました。これまで多くの先輩方から受け継がれてきた伝統はしきたりだけではなく、その精神であり新たな時代を迎えても翔陽高校同窓生が織り成す想いは時代を超えて途切れなく創造されていく。その精神を令和の時代も紡いでいきたいという願いが込められています。その精神とは正に同じ母校で結ばれた人間同士の世代を超えた思いやりの心であったことが、これまでの実行委員会の活動を通じ、お世話になった方々の温かいお言葉や振る舞いに触れる度に気付かされました。

また、同じ年に卒業し、それぞれの人生を歩み様々な経験を積んだ当番期生が定例総会の成功という同じ目的に向かい、活動していくことの清々しさも多くの先輩方が紡いでこられた翔陽高校同窓会ならではの掛けがえのない経験であると思います。この度実行委員長を仰せつかり、貴重な経験や気付きの機会をいただいた事に心より感謝しております。

六月九日の定例総会は当番期生一丸となり、ご来場の皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

結びに、益田翔陽高等学校同窓会の益々のご繁栄と、会員の皆様方、同窓会を通じてお世話になった方々のご健勝とご多幸を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

◆令和元年度 益田翔陽高校同窓会◆
企画調整会議役員名簿

役職名		氏名	卒業科
委員長		岩本武臣	農業科
副委員長		林　智弘	農業土木科
副委員長		清水　径	工業化学科
部門長	広報資金	安永　孝	電気科
	総会	和田　至	農業土木科
	懇親会	林　智弘	農業土木科
	アトラクション	溝辺博明	機械科
副部門長	広報資金	広瀬真治	機械科
	総会	植木浩紀	園芸科
	総会	水津美香	工業化学科
	懇親会	清水　径	工業化学科
	アトラクション	吉田真琴	工業化学科
事務局長		齋藤勝義	機械科
会計長		村上絵美	工業化学科

母校は今・・・

翔陽高校近況報告

電子機械科　釜　田　　博
（昭和56年3月　益工機械科卒）

平成30年4月10日、電子機械科21名、電気科35名、生物環境工学科38名、総合学科33名の新入生計127名を迎え、新年度がスタートしました。

学校行事・部活動・資格試験・課外活動などに積極的に取り組み、個人の成長や、学校のPRに努めた1年となりました。

そして、平成31年3月1日、123名の卒業生が進学・就職とそれぞれの新たな進路へと巣立っていきました。

■本年度の歩み■

【四月】
9日(月)　1学期始業式
10日(火)　入学式・対面式・入寮式
25日(水)　1年生遠足
28日(土)　緑の市

【五月】
1日(火)　生徒会・農ク・家ク合同総会
8日(火)　第1回中高連絡会
13日(日)　PTA総会・授業参観・役員会
　中間試験(～15日)
15日(火)　県総体壮行式
17日(木)　農クふれあい事業(いも苗植え)
25日(金)　県総体(前期)(～5月27日)
31日(木)　県総体(後期)(～6月2日)

【六月】
4日(月)　県総体報告会・第1回避難訓練
8日(金)　あいさつ運動(16日まで)
15日(金)　農業クラブ意見発表校内大会
　救急法講習会
16日(土)　一日体験入学(1回目)
18日(月)　夕方ふれあい市
20日(水)　先輩からのメッセージ
22日(金)　農業クラブ鑑定競技校内大会
26日(火)　期末試験(～6月30日)
30日(土)　野球・吹奏楽部等壮行式

【七月】
5日(木)　校内球技大会
9日(月)　保護者と生徒との懇談会
11日(水)　夕方ふれあい市
19日(水)　学校評議員会
20日(金)　1学期終業式

【八月】
3日(金)　夕方ふれあい市
7日(火)　就職推薦会議・体育祭準備開始(3年)
26日(日)　PTA美化活動
28日(木)　2学期始業式

【九月】
4日(火)　2年生インターンシップ(～6日)
13日(木)　進学推薦会議
25日(火)　中間試験(27日まで)
29日(土)　一日体験入学(2回目)

【十月】
4日(木)　夕方ふれあい市
11日(木)　体育祭
16日(火)　地域ふれあい事業(サツマイモ収穫)
17日(水)　県外企業学校視察(2年)(～18日)
24日(水)　PTA体験講話(1年生)
　農業クラブ全国大会(～25日)
　PTA体験講話(2年生)
　進路ガイダンス(1年生)

【十一月】
2日(金)　あいさつ運動(～11月17日)
7日(水)　校内ロードレース大会
18日(日)　翔陽祭(～19日)
21日(水)　第2回中高連絡会
29日(木)　期末試験(～12月4日)

【十二月】
5日(水)　立会演説会・生徒会
　農業クラブ・家庭クラブ合同選挙
6日(木)　夕方ふれあい市
7日(金)　第2回避難訓練
13日(木)　生物環境工学科課題研究発表会
19日(水)　総合学科課題研究発表会(～20日)
21日(金)　2学期終業式

【一月】
8日(火)　3学期始業式・生徒会
　農業クラブ・家庭クラブ合同総会
22日(火)　推薦入試
25日(金)　3年期末試験(～30日)
25日(火)　1・2年中間試験(～29日)

【二月】
1日(金)　電子機械科・電気科課題研究発表会
6日(水)　地元企業見学(1年)
　進路ガイダンス(2年)
9日(土)　課題研究発表会(グラントワ)
　3年生を送る会(グラントワ)
22日(金)　第3回避難訓練
27日(水)　期末試験(～3月5日)
28日(木)　同窓会入会式・表彰式

【三月】
1日(金)　卒業式
6日(水)　学力検査・面接試験(～7日)
15日(木)　校内球技大会
22日(金)　3学期終業式・離退任式
25日(月)　入学予定者登校日

体　育　祭

10月4日（木）体育祭が行われました。前日午後の天気予報では降水確率90％。しかし当日は絶好の体育祭日和となりました。入場行進・選手宣誓も良かったと思います。

3年生は、夏休みから準備をはじめ、就職試験・中間試験後の、忙しい日々を経ての体育祭開催となりました。

当日は、学年の垣根を越えて分団ごとの結束を高め、各競技に精一杯取り組み、盛り上がった体育祭になりました。

翔　陽　祭

平成最後の翔陽祭11月18日（日）、19日（月）の2日間に渡り、翔陽祭が開催されました。今年度の統一テーマは「時を翔る翔陽～平成最後の奇跡～」で、例年よりも開催時期を遅くしましたが、例年以上に多くのお客様に足を運んでいただきました。当日の5日には回復し、早朝6時前から翔陽高校伝統のPTAテント村の準備を行うために多くの保護者が集まり農場では、朝から熱気にあふれていました。農場の各販売所には、午前9時の販売開始から長蛇の列ができ、販売終了時まで多くの人で賑わいました。教室棟内では文化系の部活・同好会・保健委員会の各種展示、総合学科の喫茶店や食堂と展示、工業棟では、S科、E科の生徒によるクラスごとの屋台が並び、模擬店や課題研究作品、面白マシン体験などで、来場された方々に楽しんでいただけたようでした。午後からは有志生徒によるアイデア満載の石見神楽上演が体育館で行われました。

2日目には、主にステージ発表が行われ、保健委員会は「生活習慣病」を題材に全校生徒が参加するクイズ形式での発表。図書委員会では、「将棋大会」の結果と「平成30年間のベストセラー」の紹介とともに発表されました。また、書道同好会による書道パフォーマンス、生徒会企画のステージ発表や吹奏楽部の演奏など大変盛り上がりました。午後には生徒たちの迫力あふれるステージ発表があり、久しぶりに晴天に恵まれた2日間を生徒・保護者・教職員そして地域の方々の支えや協力により終えることができました。

課題題研究発表会

3年生の全学科から、それぞれに選抜された2～3の研究テーマについて、グラントワ大ホールを会場に毎年2月に開催しています。3年間のまとめに相応しい各学科の特色をいかした活動内容の発表に、地元企業・保護者・一般の方々が多く来場され、生徒は、自分達の活動成果について工夫を凝らし分かり易く発表し、高校生活最後の発表会として、良い経験になっています。

後　記

平成31年度144名の生徒が、益田翔陽高校14期生として入学してきました。近年、生徒数は減少傾向にありますが、学校の歴史は毎年積み重ねられてきています。

同窓生の皆様には、翔陽祭や夕方ふれあい市、みどりの市などが一般公開されていますのでぜひ学校の方にもお越しいただければとお待ちしています。

今後も様々な方面でのご協力をお願いすることになると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではありますが、母校、益田翔陽高校の近況報告とさせていただきます。